

岩手県立図書館郷土資料講座

演題 お能と農とサッカーと〜案外身近な能の世界

能楽喜多流謡教士・同舞教士・エッセイスト

講師 千葉 万美子 氏



室町時代初期（14世紀）に観阿弥・世阿弥親子によって大成された能は、60年以上の歴史を持つ日本が誇る伝統芸能である。

室町時代から江戸時代までは幕府や公家、大名など、明治以降は政府、皇室、華族、新興財閥など能の後援者が支配階級、富裕層であったこと、能面、装束、鼓などの楽器、古語による謡、専用の能舞台などその演劇のありさまが現代の私たちの普通の暮らしからは遠いことが、人々に能をいわゆる「敷居が高い」芸能と思わせているのではないか。

本講座では能が案外身近なものであることを講師の著書『わたしたちはみな弱法師である』（盛岡出版コミユニティー刊）などを参照しながら伝える。

演題は能が農業やサッカーととても近い存在であることを示しているのだが、それはどんなところだろうか。

岩手の暮らしに脈々と続く謡曲文化を絶えさせないためにも、ぜひ、ひとりでも多くの方に能、謡曲に興味を持っていただき、地域の謡い手になっていただきたい。

日時 令和六年三月十日（日）午後一時半〜三時（開場 午後一時）

会場 一関市立一関図書館一階学習室

定員 五十名（要申込） ※入場無料

申込方法 直接・電話による事前申込み

◆主催

岩手県立図書館 一関市立一関図書館

◆共催

一関地方社会教育協議会図書館部会

◆お申込み先・お問合せ先

一関市立一関図書館（一関市大手町二一四六）

電話 〇一九一―二一―二一四七

事前申込用紙（直接・電話）

令和5年度郷土資料講座 3月10日（日） 一関市立一関図書館

氏名		電話番号	
----	--	------	--